

第百十六師團步兵第百三十三連隊略歴

年月日	概	要
昭三三三三	歩兵第百三十三連隊勅令下今日滿成着手	
五二二	編成完結	
六二二	大阪港出帆	
六二五	上海上陸	
七一	中華民國浙江省杭州嘉興附近警備	
八二九	南京移駐、同地警備	
九一八	中華民國安徽省安慶移駐、同地警備	
一〇一	武漢攻略戦参加	
一一四	中華民國安徽省銅陵大通鎮移駐	
一四二〇二	中華民國安徽省銅陵移駐	
三二六	冬季攻勢反攻作戦に参加	
一五二〇七	秋季皖北作戦参加(歩一大)	
一六九一五	長沙隨縣信陽附近反響戦闘参加(歩二中)	
一六三三八	大東亞戦争参加	
三二六	皖浙作戦参加	
一九一一一	中華民國湖北省鄂城麻島店移駐	

内 二十

(336)

0846

一〇二	中華民國湖南省邵陽果早谷冲移駐
二五〇	内地滞處の為岳州出發
五二六	漢口出發
六一九	上海港出発
六二八	浦賀上陸 復更完結

死之  
 17年19  
 下官 46  
 息 366  
 86B } 締成通是日2.4.30  
 87B } 17年12月7/3名車転出  
 131D }  
 20.6.10  
 室産地 山塘冲 陸肢指伴通之  
 年比 楚備

(357)

0847

外  
二  
十

(200)

1880

0848

**国立公文書館 アジア歴史資料センター**

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

野砲兵第百二十二聯隊略歴

年月日	概	要
昭三、五、一五	野砲兵第百二十二聯隊第六動員下令	
五、一五	動員業務着手	
五、二六	京都伏見にて動員完結	
六、一四	聯隊本部及第二大隊上海上陸	
六、一五	第三大隊上海上陸	
六、二六	第一大隊及聯隊段列上海上陸	
八、二二	第二大隊は第二十三師団に配属浙江省嘉興杭州警備	
八、二六	第一大隊は安徽省蕪湖附近の戦闘に参加	
八、二六	聯隊本部及第三大隊は江蘇省南京に移駐	
九、九	第一大隊安徽省大通附近の戦闘に参加	
九、一三	第二大隊江蘇省南京に集結	
九、一六	第三大隊安徽省馬塘鎮に上陸	
九、二〇	第一大隊安徽省池州附近の戦闘に参加	
	第三大隊安徽省吾口附近の戦闘に参加	
三、一	聯隊本部及第一大隊は安徽省安慶移駐	
一四、一、八	第二大隊安徽省安慶移駐	

年月日	概要
昭三四	聯隊は安徽省大通地区揚子江岸冬期作戦に参加
一五三	第一大隊は第二次呑口南方地区戦闘に参加
四一八	第一第三大隊は春季皖南作戦に参加
五一	第二大隊は安徽省安慶に移駐
二二七	聯隊（第一、第三大隊欠）は北部濰陽作戦に参加
二七二	第一大隊は小山兵より安慶に移駐
一八五	第三大隊安徽省廣竹園に移駐
三二	聯隊（第一大隊及第二大隊の一部）は臨時山砲大隊を編成し羅家嶺附近の討伐に参加
一九〇	聯隊は湖南省資慶周辺に集結、全地警備
二〇八	待戦の大詔渡発
九二	休戦
九三	後方地区集結の為資慶出発
九三	湖南省岳陽縣孫武附近に集結
二五一	聯隊主力（第二大隊欠）は未船地上海に集結の為湖南省岳陽縣茶家灣出発
五八	湖北省黄陂縣楊子集結
五二	南京上陸、欽道に依り上海に河ひ出発
五三	上海到着

戦死  
将校 乳  
北下 4名

5.30  
室 岳陽縣茶家灣

兵 16名 (340)

0850

六四	聯隊本部指揮班及第一大隊は内地帰還を爲し上海出帆
六一〇	花見島上陸
六二〇	第三大隊及聯隊本部残留者の一部内地帰還の爲し上海出帆
六三三	佐世保入港船内検査の結果発疹を発生船内に於て隔離
七一四	隔離解除
七一五	佐世保上陸
七二二	第三大隊及聯隊本部事務整理要員帰還の爲し上海出帆
七二二	浦賀港上陸
七二二	以上を以て聯隊の帰還輸送は完了す

(241)

0851

第百十六師団工兵第百十六聯隊略歴

年月日	概	要
昭三 五 一五	第大勅員下令	
五 二〇	編成完結（京都市）	
六 一	大阪港出発	
	杭州附近の警備	
	南 ← 京	
	安慶移駐	
九 一	揚子江々岸警備	
自一四 至一五 一三	冬季作戦参加	
自一五 至一五 三〇	春季皖南作戦参加	
一八 五 二五	軍令陸甲第三十大号编制改正下令	
	編成完結	
自一八 至一九 一〇 一〇	常德殲滅作戦参加	
	揚子江岸警備（武昌）	
自一九 至二〇 一三 一一	湘桂作戦参加	
	衡賓地区警備	
自二〇 至二〇 一〇 一〇	湘西作戦参加	一戦死 7名

外二十一

(3/2)

0852

三〇八二四	八二五	九二	二六四	六一九
黄慶周辺地区の警備	停戦詔書発令	停戦協定締結	上海出帆	鹿児島上陸、同日除隊召集解除

(348)

0853



第百十六師団第百十六師団通信隊略歴

年月日	概	要
昭三、五、一五	勤員下令	
五、二七	京都に於て勤員完結	
六、一七	支那派遣軍の隷下に入る	
六、一七	大阪出発	
六、三三	中華民國江蘇省上海上陸	
六、三五	浙江省杭州移駐	
八、三〇	部隊は杭州に位置し、昭和三、八、元迄杭州附近の警備に任ず	
	江蘇省南京移駐	
	部隊は南京に位置し、南京及鎮江附近に集結し、爾后の前進を準備す	
九、一三	安徽省安慶移駐	
	部隊は安慶に位置し、昭二、八、〇、五迄揚子江岸の警備に任ず	
一三、一八	大通南方地区作戦	
一四、一〇、一	師団は戦斗序列を以て第十三軍の隷下に入りしめらる	
三、二六	揚子江岸冬季作戦	
五、四、四	春季皖南作戦	
五、七	湖東作戦	

(344)

0703

0854

一〇、一五	秋季皖北作戰
一一、二五	北部溇陽作戰
一六、三、一四	皖浙作戰
一七、四、三〇	浙贛作戰
二二、二二	大別山作戰
一八、六、二五	軍令陸甲第三六号に依り臨時編成下令 昭八、七、二〇編成完結
一〇、五	常德殲滅作戰
一九、一、一〇	湖北省武昌駐留
四、三〇	湘桂作戰
一〇、三	湖南省宝慶駐留
一三、一	師団戦斗序列を以て第二十軍の隷下に入らしめらる。
二〇、四、一	湘西作戰
八、一六	停戦の大命を拜授し同日戦斗行動を停止す
八、三	復員下令
一〇、一	湖南省岳陽県孫武附近集結
二、四、九	内地帰還の為孫武出発
六、六	上海到着
六、二〇	上海出帆
七、五	佐世保港上陸 二七、六復員式終了。

(345)

0380

0855

第百十六師団輜重兵第百十六連隊

陸軍大佐 南 喜代彦

年月日	概要
昭和十八年五月二十五日	編成完結の状況 昭和十八年軍令陸甲第三十六号輜重兵第百十六連隊編成下令
六月二〇日	編成業務着手
七月一日	中華民國安徽省懷寧縣安慶に於て編成完結 行動の概要及日時
八月二十五日	中華民國安徽省懷寧縣安慶に於て警備
九月一日	常德作戦
九月二日	湖北省武昌縣武昌に於て警備
九月三日	湘桂作戦
九月四日	湘西作戦
九月五日	湖南省邵陽縣宝慶に於て警備
九月六日	湖南省邵陽縣宝慶に於て警備
九月七日	岳陽縣林家橋に集結
九月八日	復員のため阿地出発

定七  
浮柱2  
下塔 1  
兵 25  
運送本隊 81 2 中 12 計 100 計 100  
X 3. 34 (品) 10 軍 運 送 12 考 12  
致 1170 名

外 二十 二

昭和十八年五月二十五日

0856

五 一 六 六 八	漢口出発 上海出帆
佐世保上陸 優貞完結	

(347)

0857

第百十六師団兵器勤務隊略歴

年月日	概	要
昭三、五、一	第百十六師団兵器勤務隊臨時編成	
五、一	編成完結	
五、一	中国派遣の為宇岳港出帆	
六、一	吳淞沖通過第百十六師団長の隷下に入る	
六、一	安徽省懷寧県安慶上陸同地に在りて兵器修理業務	
自一四、一、一 至一三、一、一	揚子江岸冬季戦斗に参加	
自一三、一、一 至一三、一、一	春季皖南作戦参加	
自一三、一、一 至一三、一、一	湖東作戦参加	
自一三、一、一 至一三、一、一	秋季皖北作戦	
自一三、一、一 至一三、一、一	北部潯陽作戦参加	
自一三、一、一 至一三、一、一	石門街附近の作戦参加	
自一三、一、一 至一三、一、一	浙贛作戦参加	
自一三、一、一 至一三、一、一	大別山作戦参加	
自一三、一、一 至一三、一、一	昭十八年軍令陸甲第三十六号に依り在支部隊臨時編成(編成改正)第百三十	
自一三、一、一 至一三、一、一	次復帰(復員)下令	
自一三、一、一 至一三、一、一	編成完結安慶に在りて兵器勤務	



第百十六師団第百十六師団衛生隊略歴

年月日	概	要
昭三、五、一五	第百十六師団第六動員第一号下令	
五、一六	編成業務着手	
五、二五	編成完結（京都）	
六、二八	中華民国上海上陸	
七、一	浙江省杭州移駐	
九、一九	安徽省懷寧景安慶移駐	
一五、四、二二	自一五、四、二二至一七、四、二二	春季皖南作戰に参加
一七、四、二〇	自一七、四、二〇至一八、六、二五	浙贛作戰に参加
一八、六、二五	昭和十八年軍令陸甲第三六号在華部隊臨時編成（編制改正）	
七、一〇	軍令陸甲第三六号に依る編成完結	
一〇、八	自一八、六、二八至一九、一、一〇	常德殲滅作戰に参加
一九、一、一〇	湖北省武昌景武昌に移駐	
一〇、三	湖南省邵陽景宝慶に移駐	
一〇、四、一三	自一〇、四、一三至一〇、六、二〇	湘西作戰に参加
九、二	停戦協定締結	
九、三〇	湖南省岳陽景彭家冲と連絡	

外 二十三

(357)

0860

二四三	滬還輸送の為湖南省岳陽縣彭家冲出発
四二五	岳陽南方地に集結
六二二	上海に集結完了
六三二	上海港出帆（一部は昭三、六、二八上海港出帆）
七一	鹿児島港上陸（一部は昭三、七、大浦賀港上陸）
七一	残務整理終了復員完結

(351)

0861



第百十六師団第一野戦病院略歴

病院長 陸軍軍医少佐 岡本 梅向 召

年月日	概	要
昭三 五 一六	動員下令	
五 三三	京都に於て編成完結	
六 一五	大阪港出帆	
六 二六	中華民國江蘇省吳淞に上陸	
自 六 二六 至 六 二六	杭州 湖州 池州の各地区を移駐病院開設	
自 六 二六 至 六 二六	安徽省安慶(彭澤 湖口地区に分駐)に在りて病院開設	
自 六 二六 至 六 二六	第一半部は浙江省寧波に移駐同地に病院開設	
自 六 二六 至 六 二六	第二半部は江西省湖口に在りて病院開設	
七 一三 一九	安慶に於て第百十六師団長の隷下に復級 二半部を併合病院開設	
一八 五 一	昭和十八年軍令陸甲第三六号により臨時編成(編制改正)下令	
七 一〇	編成(編制改正)完結	
自 七 一〇 至 七 一〇	湖南省衡陽-宝慶に移駐病院開設、衡宝地区警備	
自 七 一〇 至 七 一〇	宝慶周辺地区警備中今次終戦に至る	
自 七 一〇 至 七 一〇	復員完結	

第百十六師団第二野戦病院略歴

年月日	概要	要
昭三、五、一九	軍令陸甲第 号により第百十六師団第二野戦病院編成下令	
五、一九	大阪に於て編成着手	
五、二七	編成完結	
六、一〇	杭州上陸	
一、三〇	中華民国安徽省銅陵県大通に駐屯	
自三七、四、三〇	浙贛作戦参加	
自三八、一〇、一八	常德作戦参加	
至三九、一〇、一〇	湘桂作戦参加	
四、二〇		
三〇、六、一〇	湖南省宝慶に駐屯 病院開設	
八、一四	停戦	
九、三〇	湖南省岳陽県 高冲に駐屯、病院開設	
二、四、二六	復興のため行動開始	
五、二二	上海到着	
六、一	上海出帆	
六、八	佐世保上陸	

(353)

0863

第百十六師団第四野戦病院略歴

年月日	概	要
昭三、五、一	第百十六師団第四野戦病院編成下令	
五、一	京都に於て編成完結	
六、一	内地港湾出帆（大阪港）	
六、一	杭州湾上陸	
二、三	中華民国安徽省懷寧県安慶に於て野戦病院開設	
一八、六、二五	軍令陸甲第三大号に依り編成改正下令	
七、一〇	編成改正完結	
一九、三、三	中華民国湖北省武昌県紙坊に移駐	
三〇、六、一五	湖南省邵陽県下板橋に於て野戦病院開設	
八、三	邵陽県賊神庙に移駐	
二、四、一九	武漢地区集結のため鹿角出発	
五、一	中華民国湖北省漢口に到着	
五、六	内地帰還のため漢口出発	
五、三	上海に到着	
六、三	上海出帆	
六、三	鹿児島島上陸	

外 二十四

(354)

0864



年月日	昭二六八 六八
要	概 佐世保港上陸 復員式挙行（針尾） 復員完結

(35)

0866

第六十四師団司令部略歴

陸軍中將 船引正之

年月日	概要	要
昭一八、六、一〇	軍令陸甲第三十六号在華部隊臨時編成下令	
六、一七	編成業務着手	
七、一〇	江蘇省江都県揚州に於て編成完結	
	師団長以下將校三六名 下士官四四名 兵一七七名	
	廣徳作戦参加	
	京漢作戦参加の爲揚州出發	
	第十一軍の隷下に入り湘桂作戦第一期に参加	
	参加時 死没人員 戦死兵一	
	湖南省長沙県長沙に移駐	
	第六方面軍の隷下に入る	
	第二〇軍の隷下に入る	
	南韶連打撃作戦長沙附近警備	
	湘西作戦参加	
	湘西反撃作戦参加	
	復員下令	

0867

外  
二十五

年 月 日	概	要
至 三 四 三 六	湖南省湘陰縣湘陰集結 復興輸送（行動）開始	
五 一	湘陰出發鐵道輸送の依り岳州—武昌—漢口—鄭州—徐州—南京を経て	
六 一〇	上海到着	
七 一	上海出帆	
八 一	浦賀上陸 兵力	
	環地除隊	五六名
	内地除隊	五三二名
	死亡	三六名
	入院	八三名
	転属	八七名
	生死不明	三七名
	残留	六名
	以上	

(358)

0868

部隊編成の概要

中国江蘇省泰県に駐地しありたる独立歩兵第十一旅団に基幹とし昭和十八年六月十日編成に着手し同年七月十日編成完結す

一 部隊長官氏名

陸軍中將 船 引 正 之

二 先発者官氏名

陸軍少佐 英 田 哲 郎

三 主力と分離後の行動

1. 復興のため上海に集結中司令部兼三次帰還部隊を臨時編成し昭和二十一年六月二十三日乗船地飯田抜橋に移動す

2. 台風来襲のため乗船不能の処同月二十五日乗船完了(十時)するや該地出発翌二十六日佐世保沖に到着す

3. 六月二十八日検疫終了、七月一日佐世保出帆同日博多港に到着す

4. 七月三日検疫終了、七月六日上陸、同日復員完結

五. 兵力  
輸送指揮官 芝田少佐以下 三四四名



第六十四師団司令部（先遣隊）略歴

一 部隊長官氏名 陸軍中將 船引正之  
二 部隊主力と分離後の行動

昭和二十一年六月十日上海集結師団先遣隊として第百十六師団司令部井上少佐の指揮を受け六月二十日上海港出発七月十五日佐世保港上陸復員す

昭和二十一年七月十五日 陸軍少佐 大友健尋

以下六名

申送

昭和二十一年七月十五日関係書類の整備を完了し佐世保出張所人員班と預託帰郷す同日復員本部要員たる陸軍中尉森下敏郎は復員本部に何かわしむ

(360)

0870

部隊の行動概要

- 一 才二次先発隊黒木中尉以下七九名、六月二十四日中華民国江蘇省上海港を海防艦才十四号により出発七月二日鹿兒島上陸同日除隊（召集解除）七月四日各自の帰郷先に向け出発せり主力分離より除隊（召集解除）まで極めて軍紀厳正復員を完了せり
- 二 途中に於ける入院患者、死亡、生死不明等なし
- 三 進級、諸証書の附与に付削除せる者なし（戦時名簿記入済）
- 四 残務整理者は七月五日二日市到着、同月六日整理を終り各自帰郷先に向け出発せり

(361)

0871

第六十四師団混成隊略歴

陸軍少尉 佐々木

茂

一 編成完結の状況

五月三十日遺骨、遺留品及関係書類を第二十軍遺骨奉持部隊（第一師団第一突站（徳島大佐））に申送り森内准尉は同日付を以て第二十軍に転属（関係書類一切交付）第六十四師団関係の遺骨、遺留品整理の任に当る事となれり。  
又第六十四師団遺骨送部隊長江種大尉は第六十四師団との連絡の爲上海來船地司令部に残留を命ぜらる。  
依而先任者たる佐々木少尉指揮に依り佐々木少尉以下四名六月一日第六十四師団混成隊を編成す。

二 行動の概要及其の日時

1. 六月四日 上海港出帆
2. 六月六日 鹿児島港入港
3. 六月十日 鹿児島港上陸 天保山宿舎三泊
4. 六月十一日 〇九〇〇独歩第百三十一大隊松木軍曹日豊線により別府に帰郷也は一七三一鹿児島臨時ホームより出発夫々滞郷す

三 矢力

三名

第六十四師団混成隊略歴

陸軍少尉 佐々木 茂

部隊完結の状況

五月三十日遺骨、遺留品及関係書類を第二十軍遺骨奉持部隊（第一師団第一兵站（徳島大佐）に申送り森内准尉は同日附を以て第二十軍に転属（関係書類一切交付）第六十四師団関係の遺骨 遺留品整理の仕に当る事とされり  
又第六十四師団遺骨運送部隊長江藤大尉は第六十四師団との連絡の爲上海乗船地司令部に残留を命ぜらる

依而先任者たる佐々木少尉指揮に依り佐々木少尉以下四一名六月一日第六十四師団混成隊を編成す

二 行勅の概要及其の日時

- 1 六月四日 上海港出帆
- 2 六月六日 鹿児島港入港
- 3 六月十日 鹿児島港上陸
- 4 六月十二日 〇九〇〇独立第百三十一大隊松本軍曹日豊線により別府に帰郷也は一七三一 鹿児島臨時ホームより出発夫々帰郷す

三 兵力

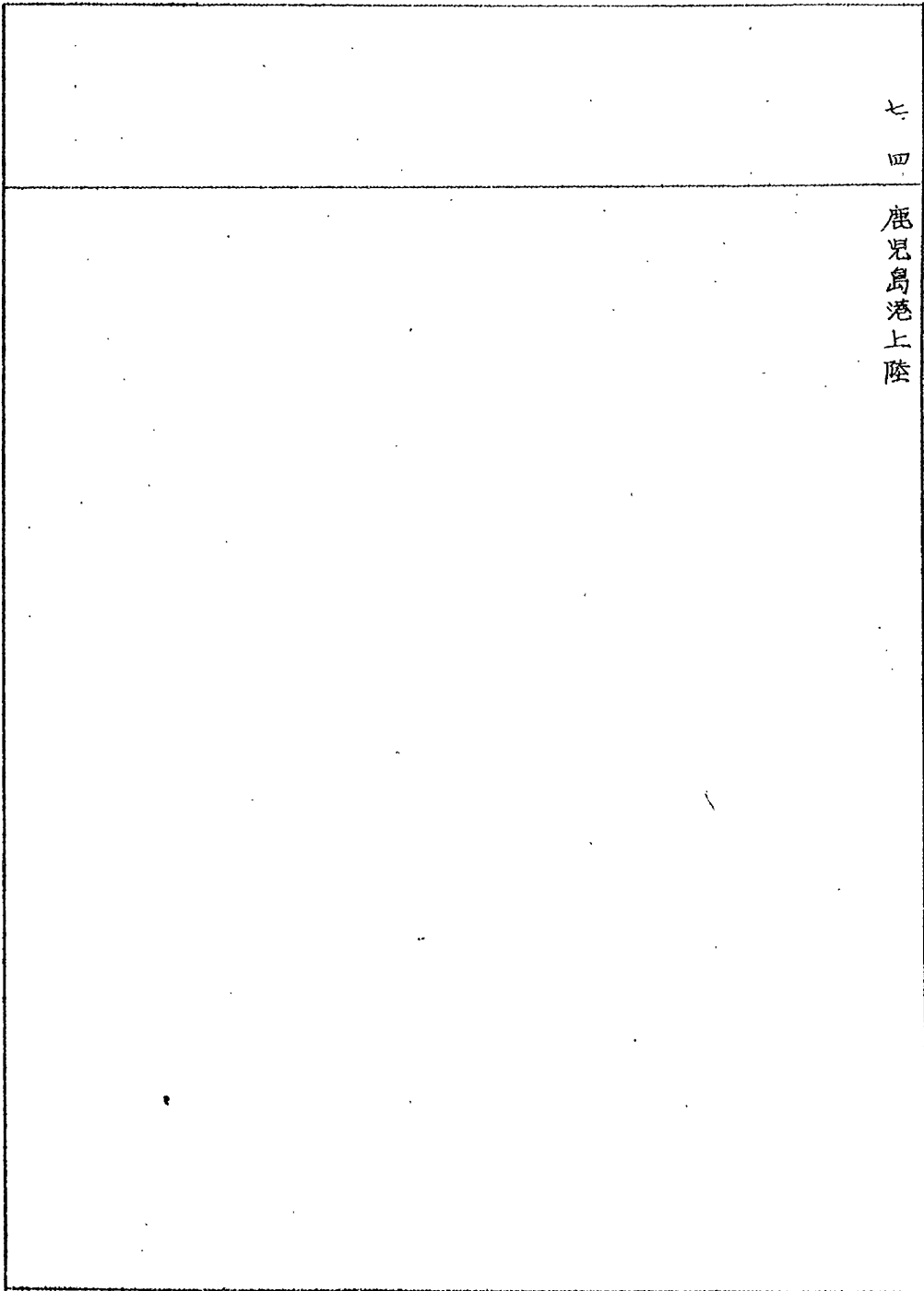
一名

第六十四師団歩兵第六十九旅団司令部略歴

年月日	概	要
昭二七、七、一〇	軍令陸甲第三十六号在華部隊臨時編成下令	
六二七	編成業務着手	
七、一〇	中華民國江蘇省東台に於て編成完結	
八、一八	如台作戦参加	
八、二〇	蘇北地区冬期肅正討伐参加	
八、二二	京漢作戦参加	
八、二四	南部興漢打通作戦参加	
八、二五	湘西作戦参加	
八、二六	湘西反転作戦参加	
八、二七	序戦詔書發布	
八、二八	復員下令	
九、七	湘陰地区集結のため益陽出發	
九、一七	湘陰到着集結完了	
二、五、一	内地帰還の為湘陰出發	
六、一〇	上海集結地到着	
六、二四	上海港出帆	

(364)

0874



七四  
鹿兒島港上陸

(365)

0875

第六十四師団独立歩兵第五十一大隊略歴

年月日	概	要
昭八、七、一〇	昭和十八年軍令陸甲第三十六号に依り在華部隊臨時編成（編成改正）復版（復	員）要領に依り独立歩兵第五十一大隊編成下令
七、一〇	中華民国江蘇省塩城県塩城に於て編成完結	
二九、八、七	中華民国湖南省沅江県沅江に移駐	
二〇、四、二七	中華民国湖南省益陽県益陽に移駐	
四、二七	湖南省益陽県益陽に移駐同日より益陽附近警備に從事	
八、二四	停戦詔書発布	
八、二五	復員下令	
九、二	停戦協定締結	
九、五	湖南省湘陰地区集結のため益陽出發	
二〇、九、二一	湘陰集結	
二二、四、三〇	内地帰還のため湘陰出發	
五、一	上海出帆	
六、二五	浦賀港上陸	
七、五	内地帰還時主力と分離し 復員した一部部隊の略歴は省略す	

水 二十七

(366)

0876

第六十四師団独立歩兵第五十二大隊略歴

年月日	概	要
昭三 四一	編成完結状況 軍令陸甲第 号に依り独立歩兵第五十二大隊編成下令さる 編成業務に着手	
五七	中華民國安徽省撫湖景撫湖に於て編成完結す 軍令陸甲第三十六号に依り編成改正下令さる	
六一	編成業務に着手 中華民國江蘇省の如奉県如奉に於て編成完結す	
七〇	行動概要並に其の日時	
昭四 五七	中華民國安徽省撫湖景撫湖に於て編成完結 同地に於て南寧線欽道警備 中華民國江蘇省丹陽景丹陽に移駐、同地に於て丹陽地区警備並に海南線欽道警備	
一八 七〇	江蘇省如奉県如奉に於て編成改正完結、同日より如奉に於て江北地区警備	
一九 六一	漢口に於て中国派遣軍總司令官の隷下に入る	
九〇	第六方面軍の隷下に入る	
二〇 六一	湖南省寧郷県寧郷に移駐 湘西反駁作戦及寧郷附近の警備	

(三六)

0877



内  
二十八

年 月 日	概 要
昭 三 九 六 二 五 一 六 三 七 三	相 陰 地 区 に 集 結  内 地 帰 還 の た め 相 陰 出 発  上 海 出 発  仙 崎 上 陸  内 地 帰 還 時 主 力 と 分 離 し 復 員 し た 一 部 部 隊 の 略 歴 は 省 略 す

(368)

0878

第六十四師団独立歩第五十三大隊略歴

昭 和 年 月 日	概 要
五 一	編成業務着手
七 一〇	江蘇省高郵に於て編成完結
七 二二	中華民国江蘇省阜寧県阜寧移駐
一 三 二 四	中華民国江蘇省東台県東台移駐
九 二 七	中華民国湖南省沅江県毛角口移駐
自 三 〇 三 〇 六 一 〇	湘西作戰参加
自 三 〇 三 〇 四 一 四	中華民国湖南省益陽県益陽移駐
自 三 〇 三 〇 六 一 三	湘西反転作戰参加(益陽附近の警備)
自 三 〇 三 〇 五 一 九	湖南省湘陰県湘陰地区集結
五 一	内地帰還のため湘陰出發
六 二 五	上海港出發
七 三	乗船人員陸軍中尉原川義雄以下將三二名、下士官一五六名、兵四八九名浦賀港上陸
七 五	復員式挙行
七 五	復員完結

(259)

0879



独立歩兵第百三十一大隊略歴

年月日	概	要
昭六、五、一	軍令陸甲第三六号独立歩兵第百三十一大隊編成下令	
六、一三	編成業務着手	
六、一八	編成完結（編成地玄島）	
七、二	中華民國派遺のため屯営（玄島）出発、同日釜山上陸	
七、六	山海関通過	
七、二二	駐地中華民國江蘇省高郵縣高郵着、同日独立歩兵第百三十三大隊と警備交代す	
九、五、一	才四野戦補充隊と警備交代す	
六、三〇	中国派遺軍總司令官の隷下に入る	
七、八、一	才十一軍の隷下に入り才一期湘桂作戦参加	
八、二五	駐地中華民國湖南省寧鄉縣寧郷到着	
九、一	独立歩兵第百三十三大隊と警備交代し同日より寧郷地区警備	
九、一〇	才六方面軍の隷下に入る	
九、三〇	才二十軍の隷下に入る	
三〇、五、一〇	才二独立警備隊と警備交代す	
六、一〇	湖南省寧郷縣寧郷到着	
六、二二	才二独立警備隊と警備交代し同日より寧郷地区警備	

(311)

0881



第六十四師団歩兵第七十旅団司令部略歴

年月日	概	要
昭六、五、二〇	軍令陸甲第三入号に依り第六十四師団編成下令	
六、一〇	江蘇省泰県に於て編成着手	
七、一〇	江蘇省鎮江に於て編成完結	
自九、一〇	廣徳作戦参加	
自一〇、三、二〇	京漢作戦参加	
自一〇、六、一八	中国派遣軍総司令官の隷下に入る	
六一	第十一軍の隷下に入る	
六一〇	第六方面軍の隷下に入る	
九、一〇	第二十軍の隷下に入る	
一〇、三、一	停戦詔書発布	
二〇、八、二四	復員下令	
八一八	湖南省湘陰県湘陰到着同地に集結	
九、二〇	内地帰還のため湘陰出発	
二〇、四、三〇	上海到着	
六、六	上海港出発	
六、二〇		



第六十四師団独立歩兵第五十四大隊略歴

陸軍少佐 小林 順

年月日	概	要
昭八、五、二七	軍令陸甲第三十六号に依り編成下令	
五、二七	編成業務着手	
七、一〇	江蘇省東台県東台編成完結	
七、一三	中華民國江蘇省丹陽県丹陽に移駐	
八、二〇	丹南地区掃蕩作戦参加將校一名	
八、二〇	廣徳作戦参加下士官五名、兵一五名	
九、三〇	昭和十八年徴集二一五名補充人員として編入	
自九、二〇	穎水作戦参加	
自四、二五	京漢作戦参加	
自五、二五	中国派遣軍總司令官の隷下に入る	
自五、二七	第六方面軍司令官の隷下に入る	
自六、二六	第二十軍司令官の隷下に入る	
九、一〇	復員下令	
一〇、三一	湖南省湘陰地区果結	
二〇、八、一	内地帰還のため湘陰出発	
二〇、九、二一		
二〇、四、二九		
二〇、四、三〇		

(376)

0885





独立歩兵第五十五大隊略歴

年月日	概	要
昭二八、五、一	昭一八軍令陸甲第三十六号に依り第六十四師団独立歩兵第五十五大隊編成下令	
六、一	編成業務着手	
七、一〇	中華民国江蘇省阜寧に於て編成完結	
二、一	中華民国江蘇省溧陽県溧陽に移駐	
九、五、二	京漢作戦参加	
自 七、一	湘桂作戦(第一期 第二期)参加	
至 二、六、一	停戦認書発布(湖南省衡陽県余家嶺)	
二、八、四	復員下分 (同 右)	
八、一八	停戦協定締結(湖南省 長沙)	
九、三	湖南省湘陰県相陰地区集結	
九、六	上海集結(主力)	
二、六、一〇	陸軍大尉 若曾根庄之以下五八三名帰還	
七、八	陸軍大尉 木坂行義以下九一名帰還(完了)	
七、二	内地帰還時主力と分離し復員した一部部隊の略歴は省略す	

(377)

0887

独立歩兵第百三十二大隊略歴

年月日	概	要
昭六、五、一	軍令陸甲第三十六号に依り独立歩兵第百三十二大隊編成下令	
六、一三	編成業務着手	
六、一八	島根県濱田市歩兵第二十一連隊補充隊に在りて編成完結	
七、一〇	昭一八軍令陸甲第三十六号在支部隊臨時編成復帰要領に依り編成改正の結果第百三十二師団歩兵第七十旅団に編入	
七、一三	中華民國江蘇省泰県に移駐	
元、六、一	中華民國派遺軍總司令官の隷下に入る	
七、一	第十一軍の隷下に入る	
九、一〇	第六方面軍の隷下に入る	
二、八	第二十軍の隷下に入る	
三、八、二五	復員下令せられ同年九月六日相陰地区集結のため争郷市出發	
三、四、三〇	内地帰郷の爲相陰出發	
六、二一	上海港出發	
七、一	鹿野島上陸	
	内地帰還時主力と分離し復員した一部部隊の略歴は省歴す	

外 三十

(378)

0888

独立歩兵第百三十三大隊略歴

陸軍少佐

桐

谷

幸

昌

年月日	概要
昭六、五、一	編成完結状況 軍令陸甲第三十六号に依り編成下令
六、三	編成業務着手
六、六	山口編成完結
六、七、三	行勤の概要及其の目的
六、七、三	中華民國江蘇省金壇に移駐
六、七、三	同地附近の警備
六、七、三	中華民国江蘇省泰兴附近の警備
六、七、三	支那派遣軍總司令官の隷下に入る
六、七、三	長沙並道頭市附近の警備
六、七、三	第六方面軍司令官の隷下に入る
六、七、三	第二十軍司令官の隷下に入る
六、七、三	停戦詔書発布
六、八、一	
六、八、一	
六、八、一	
六、八、一	
六、八、一	

内  
三十一

年月日	概要
昭三〇、九、三〇	湖南省湘陰地区集結
五、一	内地帰還のため湘陰出発
六、二	上海港出発
七、一	佐世保港上陸

(230)

0390

第六十四師団工兵隊略歴

其一 部隊前身たる 独立混成第十二旅団工兵隊略歴中第六十四師団工兵隊復員に關係ある事項の概要

年月日	概要	要
昭五、四、元	支那第一次に引続き中支江蘇省鎮江附近に於て海南線鉄道警備	
一六、四、二	江蘇省泰県に移駐同地附近警備	
其二 第六十四師団工兵隊略歴		
昭六、五、一	軍令陸甲第三十六号在支部隊臨時編成（編制改正）復歸（復員）要領に依り縮成下令	
六、一〇	編成着手	
七、二〇	編成完結	
一九、七、二〇	湖南省長沙到着 同地附近警備	
二二、五、一	内地帰還のため湖南省湘陰出発	
六、二七	上海港出発	
七、六	主力浦賀上陸	
七、八	兵員の大部除隊（召集解除）	
七、一六	復員完結	
	内地帰還時主力と分離し復員した一部部隊の略歴は省略す	

(331)

0891

第六十四師団通信隊略歴

年月日	概	要
昭八、七、一	編成業務着手	
七、一〇	中華民國江蘇省江都揚州編成完結	
九、三〇	廣徳作戦	
自九、三〇至九、三〇	京漢作戦	
自九、三〇至九、三〇	第一期湘桂作戦	
自九、三〇至九、三〇	中華民國湖南省長沙長沙	
七、二二	停戦詔書発布	
二〇、八、四	復員下令	
八、一六	復員帰還のため中華民國湖南省湘陰出發	
三、五、一	中華民國江蘇省上海到着	
六、六	上海港出發	
六、二〇	佐世保港上陸（自六、二三至七、一四佐世保港に碇泊隔離	
七、一五	於佐世保部隊主力の復員式終了	
七、二五	内地帰還時主力と分離し復員した一部部隊の略歴は省略す	

外 三十一

(332)

0892

第六十四師団輜重隊略歴

年月日	概	要
昭一六、六一	編成業務着手	單令陸甲第三六号に依り第六十四師団編成下令
六、一〇	廣徳作戦参加	中華民國江蘇省恭泉に於て編成完結 尔後同地附近に在りて輸送並に警備
七、一〇	京漢作戦参加	
自九、三〇	第一期湘桂作戦参加	
自一〇、二七	中華民國湖南省長沙に移駐同地附近の警備並に輸送	
自一〇、二五	湖南作戦参加	
自一〇、二五	復員下令	
自一〇、二〇	湖南省湘陰県湘陰地過集結	
自一〇、一六	内地帰還の爲湖南省湘陰県湘陰出發	
自一〇、一六	上海港出發	
自一〇、一六	佐世保港上陸、同日除隊召集解除	
自一〇、一六	内地帰還時主力と分離し復員した一部部隊の略歴は省歴す	

(283)

0893



第六十四師団野戦病院略歴

第三十九師団第三野戦病院下令に依る人員を主幹とし第三十九師団衛生隊より一部（主に歩  
兵）を加へ

昭二七	軍令陸第三十六号第六十四師団野戦病院編成下令
七、一	編成業務着手
七、一〇	湖北省宜昌県宜昌に於て編成完結
七、一〇	中華民国江蘇省鎮江県鎮江移駐のため湖北省宜昌県宜昌出発
七、二四	中華民国江蘇省鎮江県鎮江到着同日より同地に待機
八、一	將校以下五三名を東台県東台派遣し東台患者療養所を開設す
一一、二	移駐の急鎮江出発同日江蘇省江都県揚州到着同日より同地に於て揚州第六十四師団野戦病院開設並に同地附近の警備
一九、六、一	中国派遣軍總司令官の隷下に入る
七、二七	中華民国湖南省長沙県長沙到着同日長沙第六十四師団野戦病院開設並に同地附近の警備
三、八	十二月八日より昭和二十年二月二十八日迄南部奥漢打通作戦向長沙附近の警備
三、六、二〇	湖南省寧郷到着同日寧郷第六十四師団野戦病院開設並に附近の警備
八、二五	復員下令
二、二五、一	内地帰還のため湖陰出発

<p>六一〇 六三五 七二</p>	<p>上海地区乗結 上海港出帆 鹿児島港上陸</p>
<p>内地帰還時主力と分離し復員した一部部隊の略歴は省略す</p>	

(285)

0895